5680	W　（世界的使用） （R）及び（OR）	この周波数の電波の全世界における使用は、次の場合に認められる。 1　航空機局では、次の通信に認められる。 (a)　進入管制及び飛行場管制との通信 (b)　航空局との間の他の周波数が使用不可能又は不明である場合の通信 2　航空局では、進入管制及び飛行場管制のために次の条件で認められる。 (a)　空中線回路における平均電力の値を20W以下に制限すること。 (b)　有害な混信を避けるため、使用空中線の型式について、その都度特別の注意を払うこと。 (c)　この周波数を(a)及び(b)の条件で使用する航空局の電力は、直接関係する各主管庁と業務が影響を受けるおそれがある主管庁との間で調整を行うことを条件として、その電力を航空機の運航上の要求を満たすために必要な値にまで増加することができる。 3　この周波数を1及び2の目的に使用するための他の詳細な事項については、国際民間航空機関の会合が勧告することもある。 4　この周波数は、上空と地上との共同の捜索及び救助作業に参加する他の移動業務の局が使用することができ、また、その移動局とこの作業に参加する陸上局との間の通信にも使用することができる。航空局は、これらの局と通信を行うため、この周波数の使用を認められる。 5　この周波数は、特別取決めに従って、A1A、A1B又はA3E電波の発射のために使用することができる。ただし、この周波数は、細分することはできない。 6　共同の捜索及び救助作業に直接参加してこの周波数の電波を使用する全ての局は、無線通信規則付録第27／50号に規定する場合を除くほか、上側波帯でのみ送信しなければならない。
6526	R　2A　2B　3A　4A　6F　12G　14F	CC　2A　2B　3A
6529	R　3B　6G	
6532	M　CWP R　2A　2B　3A　4A　12F	CC　2A　2B　3A
6535	M　SAT R　2C　5D　6G　9D　10A　10D　12C　12J　14B	
6538	R　3A　3B　9B　11B V　VAFI	CC　3A　3B
6541	R　2C　6G　10C　13C　14C	
6544	R　1C　3A　3B　5A　5C　6C　10D	CC　3A　3B CC　5A　5C
6547	R　2A　2C　5D　6G　9B　10B　10E　12E　12J　13F　13K　14A	CC　2A　2C CC　12E　12J
6550	R　1B　3A　3C　5B　6D　11B　13J	CC　3A　3C
6553	R　2A　2C　4B　6G　9　10　12E　12F　13E　13F　13K　14A	CC　2A　2C CC　12E　12F CC　13E　13F
6556	M　SEA R　1　3A　3C　10C　13C	CC　3A　3C
6559	M　AFI R　2A　3B　6G　11B　13J　14D	
6562	M　CWP R　2B　2C　10D　13C	CC　2B　2C
6565	R　2A　4　6G　11B　14E	
6568	R　2B　2C　3B　6D　7C　10C　13C	CC　2B　2C　3B
6571	M　EA R　12C	
6574	M　AFI R　2A　6G　10B　13I　13M　14D	
6577	M　CAR R　2B　2C　3B　4B　6D　13E	CC　2B　2C　3B
6580	R　6G　7E　9C　10A　13C　13J　13K　14 V　VEUR	CC　13C　13J　13K
6583	R　2　3　6E	CC　2　3
6586	M　CAR R　2C　6G　7　13G　14C	
6589	R　3	
6592	M　NCA R　12C	
6595	R　1B　3B　3C　5B　6D	CC　3B　3C